



市議会だより



令和6年小金井市消防団出初式(1月14日 武蔵小金井駅南口にて)

物価高騰対策の補正予算

全会一致で可決

第4回定例会の概要

令和5年第4回定例会(宮下誠議長)は、11月30日に開会し、12月21日に閉会しました。

令和5年度一般会計補正予算

(第8回から第10回)を可決

本3件の補正予算は、一般会計予算を合計で23億9千127万4千円増額し、補正後の歳入歳出予算総額を54億8千265万4千円とするものです。

第8回は11月30日の本会議、第9回は12月7日の本会議において、予算特別委員会(小林正樹委員長)に付託しました。

12月21日の本会議において、第8回は採決の結果、原案のとおり可決しました。また、第9回は起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

さらに、第10回は、12月21日の本会議において、委員会付託を省略し、採決の結果、原案のとおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

▼学校施設維持管理に要する経費(2千503万4千円)【第8回】

今年度を実施した市立小中学校の遊具点検の結果、安全規準及び劣化の状況から修繕が必要と判断された遊具の修繕のほか、緑小学校において、学級数の増加により普通教室の不足が見込まれることから、特別教室等を普通教室として活用するために修繕するものです。

▼学校部活動の地域連携に要する経費(18万6千円)【第8回】

市立中学校における部活動の地域連携に当たり、必要な事項を検討するため、公募委員5人を含む計16人の委員構成で検討委員会を設置するものです。

▼新庁舎(仮称)新福祉会館建設実施設計委託料の債務負担行為の限度額の変更【第9回】

補正予算を可決

庁舎等設計の債務負担行為を増額

新庁舎(仮称)新福祉会館建設の実施設計について、現設計の検証結果や市民説明会での意見を踏まえ、今後の実施設計の中で追加検討を行うため、本委託料の債務負担行為の限度額を3千178万5千円から5千248万7千円に変更するものです。

▼価格高騰重点支援給付金給付に要する経費(10億2千451万8千円)【第10回】

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増により、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり7万円を追加給付等するものです。また、本事業は年度内に完了しない見込みであるため来年度に繰り越すものです。

▼商工振興に要する経費(1億7千152万6千円)【第10回】

原油価格等高騰による事業経営への影響を受けている市内の中小企業者等に対し、燃料の購入費用の一部を市が補助するものです。また、本補助金の補助対象業種を拡大するほか、申請期限の延長及び補助金額上限を1事業者当たり15万円に引き上げるものです。

▼公共交通施策に要する経費(890万円)【第10回】

エネルギー等の物価高騰の影響を受け、事業維持のための経費捻出について非常に厳しい状況に置かれているバス及びタクシーの10事業者に対し、1事業者当たり100万円を上限に支援金を交付するものです。

(2面に審議結果を掲載)

令和5年第4回定例会日誌

30日	本会議(議案の審議・委員会付託、陳情の採決)
【11月】	
4日	本会議(一般質問)
5日	本会議(一般質問)
6日	本会議(一般質問)
7日	本会議(一般質問、議案の審議・委員会付託、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)
8日	議会運営委員会
11日	厚生文教委員会
12日	建設環境委員会
13日	総務企画委員会
14日	予算特別委員会
15日	庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会
18日	行財政改革推進調査特別委員会
19日	建設環境委員会 総務企画委員会 庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会
21日	予算特別委員会 厚生文教委員会 本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議・委員会付託・採決、議員提出議案の審議・委員会付託・採決)

日曜議会を 開催します

平日に傍聴へ来られない方も議会の様子を知っていただくため、日曜議会を開催します。当日は、各議員が一般質問を行いますので、ぜひお越しください。

日時 2月25日(日)

午前10時から

場所 議場

(市役所本庁舎4階)

その他 手話通訳を行います。



審議した主な議案

令和5年度一般会計補正予算(第8回)

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論 (要旨)

渡辺ふき子(公明党)

我が会派が推進した、高齢者の帯状疱疹ワクチン接種助成に要する経費では、想定以上の接種者に年度末まで対応できる予算であり評価する。また、都の10割補助を活用した、小中学校の遊具の修繕についても、安全対策として重要である。学校部活動の地域連携に要する経費では、国の方針の中で、教員の働き方改革や、長年の部活動の在り方を改善する提案となるよう期待する。一方、生活保護費に係る国庫及び都負担金1億5千663万6千円の返還金が発生。庁内での、より積極的な再発防止策を要望し、賛成討論とする。

令和5年度一般会計補正予算(第9回)

予算の概要は1面に掲載しています。

反対討論 (要旨)

渡辺大三(子どもの権利)

本補正予算は現設計を前提としている。現設計は、①資材高騰で事業費が大きく膨らんでいる中、抜本的なコストダウンが全く講じられていない、②市民要望が非常に多い十分な広場空間の確保ができない、③庁舎にのみ免震を採用し、福祉会館には採用しない、④年40日程度しか議会利用がない議場を市民利用に供する措置が見送られている、⑤激しい雨の際、敷地が浸水するなど多くの欠陥がある。今求められているのは、欠陥を解消することができる「見直し案」への転換である。以上の理由により反対する。

見直し案を検証し、設計を直すことが必要で、反対する。

賛成討論 (要旨)

水谷たかこ(こがおも)

第3回定例会での議決に基づき再開した実施設計によって再開方針が決まり、それに必要な予算を増額するのが本議案だ。計6回の市民説明会で出た意見のうち、構造計算に影響せず可能なものは反映している。要望が多かった広場の拡大についても複数の案を追加検討し、複合施設としての機能上必要な駐車場数や安全対策等を総合的に判断した結果と評価する。物価高騰等の影響は懸念されるが、市民参加と議会の議決という民主的なプロセスを経て進めてきた設計であり、決定した方針に沿って前に進むべきだ。

賛成討論 (要旨)

沖浦あつし(みらい)

議会の求めに応じて費用と時間をかけ検証し、見直し可能な範囲を絞った上で、実施設計再開に当たり行われた市民説明会での市民の意見・要望はまさに多様であった。全てを叶えることはできないが、総合的観点から反映すべきものか判断し、その結論を出すことは行政の役割である。一方で、いつまで経っても決められないのであれば、それこそ市民の負託に応える議会と言えず、今任期中で決めることが我々の責任である。今後は市民利用、各機能の活用方法についての議論に傾注できることを願い、本補正予算に賛成する。

反対討論 (要旨)

水上洋志(日本共産党)

庁舎等建設の実施設計について、コストダウンが見込めない現設計のまま進める内容で問題である。市民説明会で約6割の参加者が現設計への異論を述べた。異なる意見を尊重し、市民意向調査などを行うべき。また、説明会で広場拡大を検討するとしながら、広げない予算内容で、市民を裏切るものである。新福祉会館との同時竣工となり、清掃関連施設の除却後の建設と、前提条件が変更された。建設費で23億円、ライフサイクルコスト70年間で17億円の削減ができ

神宮外苑再開発を止め、自然と歴史・文化を守ることを求める意見書

賛成討論 (要旨)

斎藤康夫(参政党)

「神宮外苑まちづくり」は緑地とオープンスペースを増やし、歴史と文化の復元、継承を図るものである。743本の街路樹を伐採するが、植樹により93本増やし、緑地は25%から30%に増大される。オープンスペースは21%から44%に拡大される。また、戦後GHQにより接収、返還された軟式野球グラウンドは戦前には聖徳記念絵画館の前庭であった。高名な設計者により大正時代に建設された、遠近法によりいちよう並木の先に絵画館が美しく見えるよう、幅80mの芝生庭園を復元するものである。よって、この意見書には反対する。

反対討論 (要旨)

たゆ久貴(日本共産党)

パンデミック条約と国際保健規則はまだ策定途上だが、国家主権の尊重、内政不干渉、国際連携促進の原則のもと、将来のパンデミックに際して、低所得国が当該感染症の治療薬、ワクチン等の衡平な供給を受けられるよう、技術、ノウハウの移転、生産能力の強化、病原体の情報へのアクセスと利益配分に係るルールを定める方向で交渉が進められているものと考えられる。よって、情報の周知は大切だが、本文中にあるような「基本的人権や国民生活に重大な影響を及ぼすことが懸念される」とは考えられないため反対する。

ガザ攻撃の中止と即時停戦に向けた行動をとることを求める意見書

賛成討論 (要旨)

高木章成(子どもの権利)

現在、パレスチナ・ガザにおいては、激しい戦闘により、多くの人命が失われている。10月7日のハマスによる無差別攻撃による民間人への無差別な殺傷も国際法違反であり許されるものではない。1993年のオスロ合意に基づき、パレスチナ自治政府により厳格な対応を求め、日本は憲法前文と第9条により平和主義を掲げている。この理念は全世界に広げていかなくてはならない。政府にも積極的な働きかけを求め、本意見書に賛成する。

賛成討論 (要旨)

森戸よう子(日本共産党)

国が「75年ぶりの配置基準改善」を明らかにしているが、その中身は「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」に定めるいわゆる「最低基準」としての「保育士配置基準の改善」ではない。国民に期待を持たせながら、期待はずれと言わざるを得ない。家庭や子どもを取り巻く環境が変化しているにも関わらず、75年間も配置基準の見直しが行われず、国際的な基準から見ても遅れている状況は看過できない。配置予算と合わせて保育士算の増額を求める声が保育所から上がっており、国へ求めていくべきである。

保育士配置の最低基準の引上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書

反対討論 (要旨)

河野麻美(自民党・信頼)

保育士数が全国的に不足している今、急激な配置基準の変更を行うと全ての施設において基準に見合うだけの保育士の確保が必要となり、困難な場合は施設規模を縮小する等現場に混乱が生じる可能性がある。まず各施設において人材を十分に確保できるような保育士の処遇改善に取り組みと共に潜在保育士の復職も支援する必要がある。また、保育予算について令和6年度概算要求において、前年度比3千億円程度増額し保育関連施策の充実に向け、政府与党として取り組んで行くことから本意見書を国に求める必要性は乏しい。

パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示を求める意見書

反対討論 (要旨)

たゆ久貴(日本共産党)

パンデミック条約と国際保健規則はまだ策定途上だが、国家主権の尊重、内政不干渉、国際連携促進の原則のもと、将来のパンデミックに際して、低所得国が当該感染症の治療薬、ワクチン等の衡平な供給を受けられるよう、技術、ノウハウの移転、生産能力の強化、病原体の情報へのアクセスと利益配分に係るルールを定める方向で交渉が進められているものと考えられる。よって、情報の周知は大切だが、本文中にあるような「基本的人権や国民生活に重大な影響を及ぼすことが懸念される」とは考えられないため反対する。

国に対し「保育士配置基準の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書」の提出を求める陳情書

賛成討論 (要旨)

森戸よう子(日本共産党)

国が「75年ぶりの配置基準改善」を明らかにしているが、その中身は「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」に定めるいわゆる「最低基準」としての「保育士配置基準の改善」ではない。国民に期待を持たせながら、期待はずれと言わざるを得ない。家庭や子どもを取り巻く環境が変化しているにも関わらず、75年間も配置基準の見直しが行われず、国際的な基準から見ても遅れている状況は看過できない。配置予算と合わせて保育士算の増額を求める声が保育所から上がっており、国へ求めていくべきである。

議案の審議結果	○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)													議決結果													
	自	み	子	共	公	お	参	ネ	緑	街	付	議															
付託先	河野	吹春	五十嵐	遠藤	岸田	沖浦	鈴木	村山	古畑	渡辺	高木	片山	たゆ	水上	森戸	渡辺	小林	宮下	水谷	斎藤	安田	坂井	清水	付託先			
河野麻美	吹春やすたか	五十嵐京子	遠藤百合子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	古畑俊男	渡辺大三	高木章成	片山かおる	たゆ久貴	水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子	小林正樹	宮下誠	水谷たかこ	斎藤康夫	安田けいこ	坂井えつ子	清水がく	議決結果				
賛否が分かれたもの																											
令和5年度小金井市一般会計補正予算(第9回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予	原案可決	
小金井市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総	原案可決
↳ 小金井市都市計画税条例の一部を改正する条例に対する修正案(議員提案)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	即	否決	
全会一致となったもの																											
東京都市公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び東京都市公平委員会共同設置規約の変更について																							総	原案可決			
小金井市国民健康保険条例の一部を改正する条例、小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会設置条例、小金井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、小金井市子ども家庭センター条例																							厚	原案可決			
小金井市立清里山荘の指定管理者の指定について																							厚	可決			
小金井市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例																							建	原案可決			
令和5年度小金井市一般会計補正予算(第8回)、令和5年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)																							予	原案可決			
令和5年度小金井市一般会計補正予算(第10回)、令和5年度小金井市下水道事業会計補正予算(第1回)																							即	原案可決			

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 参：参政党小金井
 み：みらいのこがねい 子：子どもの権利を守る会 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 街：街の仲間たち
 ネ：生活者ネットワーク 緑：緑・つながる小金井

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

意見書・決議の審議結果		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）													議決結果									
		自	み	子	共	公	お	参	ネ	緑	街	付	託											
件名	要旨（提案議員が作成）	河野	吹春やすたか	五十嵐京子	遠藤百合子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	古畑俊男	渡辺大三	高木章成	片山かおる	たゆ久貴	水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子	小林正樹	宮下誠	水谷たかこ	斎藤康夫	安田けいこ	坂井えつ子	清水がく
パレスチナ・ガザ及びイスラエルにおける平和の早期実現を求める決議	過去、議会は「世界連邦平和都市宣言」など、市は中東和平プロジェクトを行った。人道危機が更に悪化しないよう、国際法に基づく事態の早期鎮静化と人道状況の改善を図ること、戦闘の即時停止と終結が必要である。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○
保育士配置の最低基準の引上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書	世界的に見ても低い基準は厳しい労働条件や子どもの死亡事故や事件の遠因である。公的支出のGDP比が低い国ほど出生率が低く、劣悪な保育士配置の最低基準を引き上げるためにも保育予算の大幅な増額が必要である。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	○	×
こども関連業務従事者の性犯罪歴等確認の仕組み（日本版DBS）の充実を求める意見書	日本版DBS導入により子どもへの性犯罪防止に実効性を持たせるため、対象施設の拡大と、条例違反を対象に含めることを求める。また、幼少期からの包括的性教育、被害者支援と加害者への再発防止策の充実を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○
神宮外苑再開を止め、自然と歴史・文化を守ることを求める意見書	明治神宮外苑の再開は約3,000本の樹木が伐採される。風致地区である近隣景観へ影響や100年の歴史がある樹木の伐採に懸念する。同地区再開を止め自然と歴史・文化を守ることを強く求める。	×	×	×	×	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	×	○	○	×
生活保護制度の改善と貧困ビジネスの規制を求める意見書	生活保護法を生活保障法へ転換する、新たな貧困ビジネスの実態調査と規制、福祉事務所への居宅保護の原則の徹底、無料低額宿泊所の実態調査、扶養照会の廃止、福祉事務所のケースワーカーの実態調査と対策を求める。	×	×	×	×	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	×	○	○	×
パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示を求める意見書	WHOはパンデミック条約の提案を令和6年5月に予定している。その内容は国家主権の侵害、基本的人権侵害の懸念が含まれている。よって、その内容の国民への周知と意見聴取の手続を早期に開始することを求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○
認知症との共生社会の実現を求める意見書	認知症の高齢者は2025年には約700万人になる想定である。認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせるよう認知症基本法が成立した。国民の誰もが個性と能力を発揮し支え合える共生社会の実現を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○
医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書	介護事業所や障害福祉事業所では、人材確保・定着が難しく、運営に支障を来す事態が深刻である。国の調査では、介護職員の平均賃金は全産業の平均と8万円以上の格差がある。迅速な制度改正と生活の保障を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○
食品ロス削減への国民運動の更なる推進を求める意見書	日本の2021年度の食品ロスは523万トン（事業系279万トン、家庭系244万トン）で、世界では8億人が飢餓に直面し国連は年間480万トンを支援している。食品ロス削減推進法を基に国民運動の推進を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○
政治資金規正法に関するパーティー券疑惑の全容解明と企業団体献金の禁止を求める意見書	自民党の各派閥のパーティー券を巡る「裏金」疑惑が問題となり東京地検特捜部が捜査を行っている。①自民党における疑惑の全容を解明すること。②パーティー券の購入を含めて企業・団体献金を禁止することを求める。	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	議	○	○	○	×
旧統一協会の被害者救済のため、財産の包括的保全の法整備を求める意見書	旧統一協会の被害者は、解散請求を受け、同協会の財産が韓国の教団に流れる恐れがあるため、財産保全の特別立法を求めていたが、否決された。被害者の救済が確実にされるように包括的な財産保全法の制定を求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	○	×
米軍横田基地所属CV22オスプレイの鹿児島屋久島沖墜落事故に関する意見書	オスプレイは構造的な欠陥が指摘され、根本的な原因は未解明である。国に対し、事故原因の公表や実効性のある安全対策と再発防止策が講じられるまで、オスプレイの飛行や自衛隊への配備計画を中止することを求める。	×	×	×	×	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	×	○	○	×
ガザ攻撃の中止と即時停戦に向けた行動をとることを求める意見書	ガザの深刻な人道的危機を打開するために、政府に対し、イスラエルとハマスの双方に攻撃の即時中止を求めることや、人道的停戦を求めた12月の国連総会決議に基づく外交努力をすることを求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	×	○	○	×

請願・陳情の審議結果		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）													議決結果										
		自	み	子	共	公	お	参	ネ	緑	街	付	託												
付託先略称	総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会 建：建設環境委員会 庁：庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会	河野	吹春やすたか	五十嵐京子	遠藤百合子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	古畑俊男	渡辺大三	高木章成	片山かおる	たゆ久貴	水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子	小林正樹	宮下誠	水谷たかこ	斎藤康夫	安田けいこ	坂井えつ子	清水がく	
国に対し「保育士配置基準の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書」の提出を求める陳情書		×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	○	×	厚	
物価高騰等による燃料費補助支援の拡充を求める陳情書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	総
「東小金井駅北口まちづくり事業用地整備計画」の具体化を求める陳情書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	庁	
地方税法343条（固定資産税の納税義務者）を改正する市議会の意見書を求める陳情書		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	総	
情報公開請求の決定期間延長の理由において「業務繁忙」を部局判断で行わないことを求める陳情書		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	議	×	△	×	×	×	総	
市民から預かった書類を軽易と判断する慣例もしくは風潮を改めることを求める陳情書		×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	△	△	△	×	×	議	×	×	×	×	×	総		
小金井市文書管理規程第9条の「軽易」についての定義を明確にし、全庁的に統一した運用をすることを求める陳情書		×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	△	△	△	×	×	議	×	×	×	×	×	総		
小金井市議会に対し国は国民年金法24条を改正するよう求める意見書を提出することを求める陳情書		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	厚		
議会における答弁は部長や理事者らがより積極的に行うことを求める陳情書		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△	△	×	×	議	×	×	×	×	×	建		
「小金井市職員の応援体制に関する要綱」の機動的発出ならびに市長は要綱が適正に行われるよう配慮することを求める陳情書		×	×	×	×	×	×	×	○	○	△	△	△	×	×	議	×	×	×	×	×	総			
小金井市文書管理規程第9条の遵守を求める陳情書		×	×	×	×	×	×	×	△	○	△	△	△	×	×	議	×	×	×	×	×	総			
規定になく、またその存在をみつけることができない物についてその存在を許容するようなことのないよう求める陳情書		×	×	×	×	×	×	×	△	○	△	△	△	×	×	議	×	×	×	×	×	総			

※紙面の都合により、陳情の要旨の掲載は省略しています。
【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 参：参政党小金井 厚：厚生文教委員会 建：建設環境委員会 庁：庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会
み：みらいのこがねい 子：子どもの権利を守る会 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 小：小金井をおもしろくする会
ネ：生活者ネットワーク 緑：緑・つながる小金井 街：街の仲間たち

次の定例会中の委員会で審査する請願・陳情の提出期限は、2月21日(水)午後5時までです。

一般質問

(4面～6面) 12月4日、5日、6日、7日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。
二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。なお、休憩を挟んだ議員は2つ(上:前半、下:後半)掲載しています。

会派の略称

(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井	(こがおも)	小金井をおもしろくする会
(みらい)	みらいのこがねい	(参政党)	参政党小金井
(子どもの権利)	子どもの権利を守る会	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日本共産党)	日本共産党小金井市議員団	(緑・つながる)	緑・つながる小金井
(公明党)	小金井市議会公明党	(街の仲間たち)	街の仲間たち

子どもたちを守るための瞬間的拘束具の導入を



吹春やすたか (自民党・信頼)

先日、都内繁華街で3人組の暴漢が貴金属店に押し入り、店員の「刺股」を使った反撃で撃退されたことがテレビやネットで繰り返し報道された。「刺股」は効果的ではあるが取り回しが非常に難しい。暴漢を「刺股」で制圧できたとしても警察が到着するまで、そのままの姿勢を4～5分かそれ以上保持しなければならぬ。そこで既存の「刺股」に装着するだけで不審者を拘束できる「瞬間的拘束具」が存在する。「刺股」への取付けと操作も簡単にでき、帯状の約1mで、侵入者や犯罪者の身体に

都市農業の活性化をスマート窓口について



小林正樹 (公明党)

① 小金井市の都市農業が将来にわたり持続発展するために、市は、援農ボランティアの確保及び青年経営者の育成について積極的に取り組む必要がある。(ア)日野市や国分寺市を参考にし、援農希望者や受入農家が育つ取組を。(イ)学校などで食育を通じ、青年経営者が現場で積極的に交流できる取組を。

部長 (ア)検討していく必要があると考える。農業関係者の意見を聞きながら進めてまいりたい。(イ)実際に農業に携わっている方のお話を聞くことは、子どもたちの学びにとって、大変有意義である。様々な世代との交流が設定されるよう、学校の取組に対し、積極的に連携を図ってまいりたい。

② ライフイベント時の市役所の手続の間を、窓口DXにより減らす「スマート窓口」に取り組む自治体が増えている。(ア)先進市の取組を参考に更なる検討を。(イ)市民課窓口の混雑状況をお知らせサービスの周知を。部長 (ア)市民の利便性向上のため「待たない・書かない・行かない窓口」の拡充に向け、引き続き検討。(イ)関係課と連携し検討。

■ その他、市内の民間スポーツクラブと連携した介護予防の推進について質問しました。

みんなで考えよう、福祉避難所のこと



鈴木成夫 (みらい)

① 福祉避難所の定義、位置付け、(イ)受入れルール、(ウ)受入可能人数の積算はどうか。

部長 (ア)災害発生時に高齢者、障がい者、妊産婦等の要配慮者を受け入れる避難所と位置付け、一般の方とは原則対象外としている。(イ)運営や受入れについては、災害時の情報保障、心身双方の健康への特段の配慮、障がい特性に合わせた支援に努めることとしている。(ウ)受入人数は積算していないが、各事業所のBCP策定に当たり、受入場所や人数等を示す流れがあり、福祉避難所設置・運営マニュアル

アル改定の際に調整する。② 福祉避難所設置運営について、関係部署が連携し事前協議の場を作らないか。

部長 今後、避難行動要支援者支援事業の共有も含め、地域福祉課を中心に協議の場を設けていきたい。

市長 一つの部署だけに頼るのではなく、市として取り組む課題と思っている。

DX推進で行政手続の効率化と利便性の向上を



村山ひでき (みらい)

(ア)マイナンバーカード交付率80%を実現させる取組は、証明書等のコンビニ交付手数料を期間限定で10円に下げるとも検討を。(イ)押印省略の経過は。(ウ)12月から始まった市公式LINEは友だち登録者をいかに増やしていくのが重要。これまで市が提供してきたオンライン情報発信サービス登録者全員に宣伝しないか。情報発信だけでなく各種手続の申請、相談業務、地域経済の活性化策、市民意向調査等に活用する可能性がある。

部長 (ア)カード交付専用窓口の設置、日曜窓口での予約交付の実施、公共施設等での出張申請サポートの実施、広報誌、HP及びSNS等での情報提供を実施中。(イ)平成6年に本人署名で可能な手続は押印を求めないよう見直しを行っており継続中。オンライン申請のハードルとなる本人署名も可能なものは見直すこととし令和6年度末を目途に事務手続等を進めている。(ウ)周知はもちろん特徴的なサービス追加で利用したいと思えるツールにすることが重要。担当部署との調整が必要だが市公式Xの登録者数は約8千200人、安心・安全メールの登録者数は約1万700人となっており、有効な手段である。

市民の満足度を高めるため市役所の組織改正を



沖浦あつし (みらい)

時代の変化や社会のニーズに対応するために組織改正は必要と考えるが、平成19年の改正では丸2年の検討時間を要した。(ア)当時の予算総額と各課の事務負担は。(イ)新庁舎建設のスケジュールが決まらないうち、大規模な組織改正に着手しづらい理由は、この点か。(ウ)「くらしと文化スポーツ」の営みや地域振興が、市民の満足度を高めるための時代に合った組織改正の重要論点と考える。また、近隣4市のように、スポーツ・芸術文化・産業振興に町会・自治会活動支援と市民協働推進を加え、「総合

的な地域づくりを目指す部署」が必要と考えるが、見解は。

部長 (ア)約4千万円。相応な残業で対応したと認識。(イ)現庁舎の物理的環境の課題もあり、新庁舎への移転が見込まれる中で、いずれ大きな負担が発生する移転の時期で組織改正を行うことが最も効率的と判断する。

市長 (ウ)組織改正は、市長の政策意思の実現と市全体の総合調整の両面から検討する必要がある。一つの案として受け止めたい。地域との協働推進は、私の政策で目指す大きな柱の一つ。頂いたご意見も参考に庁舎移転に向けて順を踏んで組織改正を検討する。

協働支援センター準備室まなびあい出前講座



五十嵐京子 (自民党・信頼)

① 平成21年9月に市民協働支援センター準備室が発足して14年になる。「準備室」として14年は長過ぎる。(ア)14年間の活動の評価は。(イ)準備室がある時とない時の業務内容の違いは。(ウ)現状と新福祉会館に予定されているセンターの床面積の違いは。このままでは20年近く準備室が続く。業務が十分というイメージになり、職員モチベーションも上がらない要因になる可能性も。「準備室」は取るべき。

部長 (ア)市民協働や市民活動についての相談に年間約150件前後、市民提案型や行政提案型の協働事業の相談受付も実施。(イ)条例の設置が必要。規約や規程の整備。(ウ)現状は職員2名の机と共有の会議室だが、新福祉会館では57㎡の予定。意見も参考に考えたい。

市長 まずはご意見として受け止めたい。

② まなびあい出前講座は、コロナ禍で利用者が減った。イメージ一新で仕切り直しを。(ア)時代と共に変わる新たな課題の追加を。(イ)タイムの付け方に工夫を。(ウ)講座に入っていない内容でも市民の相談に乗る姿勢を出しては。

部長 (ア)研究したい。(イ)関係各課と協議したい。(ウ)研究したい。貴重な提言として受け止めたい。

聞こえの衰え(ヒアリング)フレイル)対策を



渡辺ふき子 (公明党)

① 加齢性難聴は40歳代から聴力の衰えが始まり、75歳以上では約半数が難聴に悩んでいるという。豊島区では、難聴者の早期発見とフレイル予防のため、アプリを使った聴力チェックを行っている。我が市も高齢者に聞こえの健康チェックを行わないか。

部長 先進市の動向を注視し研究する。

② がん患者等に治療と社会復帰への支援を。(ア)ウィッグや胸部補正下着等アピアランスケアの早期助成開始を。(イ)前立腺がん等による排尿障害の方のために、市役所の男性トイレにサニ

タリーボックスの設置を。部長 (ア)早期の実現を目指し検討する。(イ)視察を行い、設置に向け検討中。

③ HPVワクチンの男性接種費用への助成について、東京都の補助事業の開始に合わせ、助成を行うべき。

部長 事業実施時期を含め検討したい。

④ 段差や傾斜の多い富士見通りの歩道の改修や、見晴らし坂付近の、都道連雀通りの安全対策を求める。

部長 富士見通りの課題は認識しているが、歩道は道路法に基づき規定されており改良は難しい。連雀通りへの信号機設置等は、小金井警察に伝え、更なる安全措置の検討を要望する。



歯科医療、口腔ケアが 市民の健康を守ります

遠藤百合子

(自民党・信賴)



生涯にわたる体の健康の保持、増進に大きく寄与する歯と口腔の健康に関する歯科医療と口腔ケアの更なる充実が必要。(ア)口腔ケアが健康維持に大きく貢献している現状の判断は、(イ)第3期小金井市保健福祉総合計画(案)に、生涯健康に歯と口腔ケアが貢献している現状の記述を明記すべき。

部長 (ア)歯科口腔保健の重要性についての周知啓発に努める。(イ)内部で検討させていただきたい。(ウ)条例を制定する考えはない。

②女性消防団員の募集。(ア)現状と課題は、(イ)本団付きの広報部門としての活動に移行する際の課題は、(ウ)各団に所属した活動に移行する際の課題は、(エ)団員の意向を十分に踏まえる必要がある。

部長 (ア)団員の意向を十分に踏まえる必要がある。詰所施設の整備や活動制限・統制等課題解決に努めていく。(イ)本団付きとして受け入れた後の分団への配置替え等継続した検討が必要。(ウ)分団長会議で協議がなされている。

市長 女性消防団員導入に向け、機運が醸成されてきているので、消防団長とも協議を行い、しっかりと検討していきたい。

■その他、保育指針に明記されている保育参加を一日保育士体験として実施しないか質問しました。

子どもの権利条例の 成果・課題について

高木章成

(子どもの権利)



本市が子どもの権利を重要視し、子どもの権利の日を定めたこと。条例を作ったのは、子どもの権利をあるべき論で並べたためではない。各条文に引きつけて政策展開は、部長 オンプズパーソンとも相談しながら、施策の展開をしたい。

⑤条例の空文化が危惧される。権利行使を制約する規定は無意味、不要では。

部長 削除する必要があり、部外にも考えていない。

⑥子どもにやさしいまちづくりの成果と課題は。相談・救済、オンプズパーソンを取組と成果は、**部長** 総合的な推進を指している。

ペリネイタルロスへの理解と支援を乳児と防災

水谷たかこ

(こがも)



ペリネイタルロスとは、出産・死産・新生児死亡・人工妊娠中絶など、お産を取り巻く赤ちゃんの喪失をいう。本市では、妊娠12週以降の死産が令和3年度は14人、同4年度は7人の届けがあった。厚生労働省の統計では、12週未満の流産は約15%で、本市の妊娠届数から推計して1年に100人、150人が流産を経験しているかもしれない。うつの発症率が高い等、本人の健康や周囲にも大きく関わる意外と身近な問題だが、オンプズに語られることが少なく、情報が乏しい。女性だけでなく、家族や周囲の人の理解も大切なため、広く市民の理解が必要だが、啓発等に努めないか。

部長 現状では僅かな情報の提供にとどまっております。本人以外に周囲に対する啓発も重要。相談窓口や支援等、市ホームページに掲載することを検討したい。

②災害時の栄養や免疫、必要物資の量を勘案すると、母乳育児への支援が乳児全体への支援になる。防災への意識啓発等、他自治体を参考に本市でも充実させたい。

部長 災害時の不安を取り除くことは重要。他市の動向を注視しながら、関係部署と共に研究したい。

■その他、両親学級・母親学級の拡充を提案しました。

東小金井駅周辺の自転車駐輪場の今と、これから

清水がく

(街の仲間たち)



東小金井駅西側高架下駐輪場は上下段の2段式だが定期、一時利用共に上段が538台だが、利用状況は10台未満でほとんど使われていない。これは利用者が使わないのではなく使いにくい状況。利用率を向上させるために、例えば上段の使用料の無料化や値下げを検討しないか。使えない状況を改善する方策を考えるのが全うではないか。

部長 無料ということは難しい。値下げについては研究する。

②東小金井駅北口の市の駐輪場は通勤時間帯、朝の貴重な時間に入場列ができ



通勤時間帯の入場時に行列が発生している東小金井駅北口駐輪場

都市計画道路3・4・12号線の整備について

古畑俊男

(子どもの権利)



都市計画道路3・4・12号線(緑中央通り)は、今後整備が進んでいく新市庁舎と福祉会館に接続する。新市庁舎と福祉会館の利便性向上のみならず、防災拠点としての重要性から、当路線の整備を図る必要がある。

(ア)災害時における市庁舎と都市公園等の広域避難場所と直接結ぶことが極めて重要である。市の見解はどうか。

(イ)当該路線の整備は、前原町一丁目、二丁目地区の交通アクセス向上や、緑町四丁目北大通り周辺の交通環境の改善に資する。市の見

温室効果ガスの排出抑制と学校教室の断熱改修を

坂井えつ子

(緑・つながる)



設からの温室効果ガス排出量のうち66.7%が電気、都市ガスが29.2%だった。小中学校は電気のうち35.2%、ガスのうち50.2%を排出している。(ア)教室の温度を測定しているが、結果をどう捉えているか。(イ)健康的で快適な学習環境の維持向上、エネルギー効率の向上のため、学校教室の断熱改修を行わないか。1つの教室に150万円程度の経費を要すると言われている。

部長 (ア)3校では望ましいとされている28度を超えている。エアコンは入れていくが、換気の方法やタイミングなどによって違う。(イ)他自治体の取組を参考に研究したい。

PFAS汚染の対策を 米軍横田基地の調査を

たゆ久貴

(日本共産党)



人体への有害性が指摘されているPFASについて、多摩地域及び全国での関心が一層高まっている。国分寺市を中心とした周辺多摩地域では、住民の自主的な血液検査なども取り組まれ、しかも血液濃度の高い結果が出た。その有害性から、不安が払拭できず、行政に対して対策を求める声が多く聞かれています。市として独自の対策を行うこと及び国や東京都にも市として要望し対策を現していくべき。(ア)報道などで、米軍横田基地の漏出が明らかになっている。資料の提出や事故の全容などの情報開示などを含め、立入調査を強く求めるべき。

(イ)血液検査、汚染の調査や、汚染の除去について実現していくべき。(ウ)PFASの規制について、国に対して早急に検討を終え、強化することを求めていくべき。

部長 (ア)国、都の動向を重視しながら近隣自治体とも連携して要望を継続していく。(イ)現時点では独自の取組の予定はない。(ウ)専門家が科学的知見を収集している段階であり、見解を述べる段階ではない。

■その他、国有地の有効活用と、子ども食堂への補助の拡充を求めました。

介護・高齢者支援の充実を

水上洋志

(日本共産党)



介護認定について、介護度4が更新申請で介護度1になるなど、軽度で判定されるケースがあると聞いている。(ア)現状はどうか。

(イ)市雇用の認定調査員を増員すべきではないか。

部長 (ア)軽度の認定者が多い傾向にある。(イ)委託事業者の協力を得ていかなくはない。

②配食サービスが「数か月待ち」と聞いている。日曜祝日・年末年始の配食も求められている。(ア)現状はどうか。(イ)事業所を増やすべきではないか。

部長 (ア)最大5か月待ちの状況である。(イ)他市の状況を調査している。

③障がいがある高齢者への介護サービス提供のため、障がい者担当との連携が必要ではないか。

部長 障がいのある高齢者の支援に努めたい。

④コバスの介護保険証の提示について、本来の目的と使用方法が違っていると指摘された。カード発行などの対策を求める。

部長 運用について意見交換等したい。

■その他、緑小学校の増築計画の変更で、学童保育スペースや職員室、給食室の新設ができなくなった。最大限保護者等の要望に応えることを求めました。

はけの道の時間帯交通規制を再考すべきである



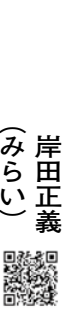
齋藤康夫
(参政党)

時間帯交通規制は、沿道住民の意向により警視庁が指定するものである。はけの道沿道住民から私の元に届いている声は、不便であるというものが全てであり、賛成する住民はいない。また、地域により規制内容が微妙に異なり、分かりづらくなっている。住民の総意を警視庁に示す方法を一緒に考えて欲しい。また、タクシー会社に通称許可証の発行を求めるべきである。住民の総意が条件で設定されたならば、住民の総意で撤廃、変更もできることになる。どのような手続をすれば良いのか。「居住者用車



時間帯交通規制の標識

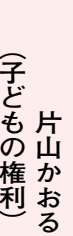
学校を核とした地域コミュニティづくりを問う



岸田正義
(みらい)

初当選以来その実現の為に質疑を重ね、10年かけ小学校全校での放課後子ども教室の平日全日開催や全小中学校でのコミュニティスクール実施を実現したこのタイミングで次の一手を提案する。(ア)音楽室はスタジオ、家庭科室はキッチン、美術室はアトリエと学校を地域でシェアし地域住民が集い出会うシェアスクールの考え方が必要。(イ)スポーツ庁が求めるとおり除外規定を改善し、部活動地域移行の担い手である民間事業者・団体に学校設備を積極的に貸し出すべき。(ウ)人生の糧となる人や物と出会う

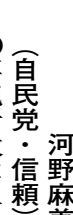
貧困ビジネスから生活保護利用者を守れ



片山かおる
(子どもの権利)

片山かおる
(子どもの権利)
たのか。(ウ)居住支援協議会と連携して支援を。
課長 (ア)詳細は把握してない。(イ)27人。
部長 (ウ)そのとおりと認識。(エ)一時扶助として市から支給はない。(オ)2人で1人約10世帯を担当。最低年2回訪問。(カ)国の規制があれば市が指導できる。(キ)把握していない。(ク)13人がゲストハウスに入居。(ケ)居住支援窓口での支援は有効。所管部局と連携して対応する。
■その他、「市が提示する『多様な学び』とは何か。本来の不登校対策とは」というテーマで質問し、学校をどう変えていくか、不登校当事者の声を反映してほしいと求めました。

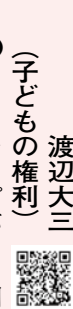
再犯防止計画／粗大ごみ回収／産前産後支援



河野麻美
(自民党・信賴)

①再犯者数は上昇傾向にあり、本市でも再犯防止計画の策定を求める。再犯防止のためには関係各所と連携し長期の奇添い型の支援が重要と考えるが見解は。
部長 地域福祉計画に包含し策定予定。福祉総合相談窓口を活用し適切なサービスを提供する。
②市民の利便性向上のため、粗大ごみ回収のLINE・Web予約を開始しないか。(イ)オンライン化により電話対応職員を他業務に充てる等事務の効率化も期待できるが、市の見解は。
部長 (ア)先行市を参考に最適な手法を検討する。(イ)課全体の業務量を勘案し、体制整備を含め検討する。
③子育てに係る経済的負担の大きさが少子化の一因であり出産・子育て費用の公的支援拡充が必要である。(ア)政府は低所得世帯の女性が産婦人科で妊娠確認時の初回受診料の補助(上限1万円)を決定した。本市での開始時期は。(イ)厚労省の産後ケア事業ガイドラインでは、内容や安全面等で施設毎に違いが生じないよう自治体でマニュアルの作成を求めている。横浜市で安全基準を定めたマニュアルがなく乳児が亡くなる事故があった。本市の現状は。
部長 (ア)検討する。(イ)委託先も踏まえ研究する。

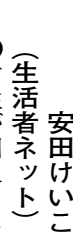
「移動投票所バス」「自宅前投票」の導入を



渡辺大三
(子どもの権利)

①ノンストップバスを期日前投票所として運行できれば、よりきめ細かに色々な所で期日前投票が可能になるのではないかと。また、来年度、茨城県つくば市で「オンデマンド型」自宅前投票システムが全国で初めて行われる。本市での実現に向けて研究を。
事務局長 投票率向上を目指す一環として、情報収集、調査研究を行いたい。
②公共施設整備基金が多摩26市で市民一人当たり換算した残高が一番少ないという惨状を呈している。庁舎建設との兼ね合いでは、財政調整基金の残高に専ら

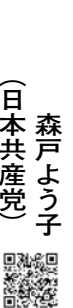
ジェンダー平等／介護サービスは充足しているか



安田けいこ
(生活者ネット)

①女性が個人として尊重される社会のために、ジェンダー平等の視点で政策を問う。(ア)女性の意思決定を尊重し、福祉につながる困難女性支援法が来年4月に施行される。基本計画の策定は。(イ)民間の女性支援団体との連携は。(ウ)毎年11月に行われる女性に対する暴力をなくす運動の周知啓発は。(エ)売春や薬物乱用、貧困など若年女性支援の取組は。(オ)本市の管理職と審議会等の女性比率向上の取組は。
部長 (ア)市の計画策定は努力義務だが検討したい。(イ)今後研究する。(ウ)令和3年から毎年庁舎玄関でパネ

栗山公園健康運動センター器具等の修繕について



森戸よう子
(日本共産党)

①栗山公園運動センターのトレーニング器具や女子更衣室のコインロッカー、壁掛け式ドライヤーの修繕を求める。
部長 器具は修繕した。コインロッカー、ドライヤーは改善したい。
②ごみの減量とリサイクルについて、(ア)小中学校の生ごみ処理機について処理方式を見直す方針だが、市民の生ごみ投入や障がい者の就労に影響がでないようにはしないか。(イ)市役所内でプラスチックを使用しない方針を徹底しないか。
部長 (ア)今後関係部署と情報共有の上対応を検討する。(イ)現段階では明確に

閉会中の委員会日程及び審査案件

建設環境委員会 1月11日(木) 午前10時 審査案件: 3件	行財政改革推進調査特別委員会 1月26日(金) 午前10時 審査案件: 1件
議会運営委員会 1月22日(月) 午前10時 2月15日(木) 午後2時 審査案件: 2件	厚生文教委員会 2月6日(火) 午前10時 審査案件: 7件
総務企画委員会 1月23日(火) 午前10時 審査案件: 6件	庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会 2月14日(水) 午後1時 審査案件: 3件

※各委員会の審査案件は、二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、ご覧いただくことができます。

※委員会等の映像については、YouTubeで中継・録画配信しています。

※紙面の都合により、審査案件の掲載は省略しています。

障がい者も議員として活動しやすい議会へ ～合理的配慮に基づく予算措置が前進～

2018年(平成30年)に施行された「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例」を踏まえ、2022年(令和4年)11月以降、重度の脳性麻痺で身体及び発声に障がいのある高木章成議員の介助や議員活動のサポートについて、議会の中で様々な話し合いを続け、本人の要望を聞きながら、少しずつ改善してきました。

- ・議会での発言は、同会派の議員が代読または復唱する。
 - ・一般質問は、通常は1人1時間以内のところ1時間半以内に延長する。
 - ・議場や委員会室の椅子を座りやすいものにする。
 - ・トイレには温水洗浄便座や手すりをつける。
 - ・会派控室に呼び出しボタンを設置し、議会事務局と連絡が取れるようにする。
- などが一例です。

しかし、書類めくりや書類整理、食事介助など、介助者の手助けが必要な場面も多くあるため、参議院等の事例を基に、介助者費用を議会費として予算措置するための検討を続けました。結果的に、当事者と意思疎通できる介助者を介護事業所に契約して派遣してもらうことになりました。

2023年(令和5年)第3回定例会において、「議会活動支援介助委託料」という名目で議会費として補正予算に計上され、介助者費用の予算化が実現しました。発声に障がいのある高木議員の意図をくみ取り、議会用語にも慣れている介助者が必要ということで、対応できる介助者を、議員本人のコーディネートで議会に派遣してもらう、といった形です。議会でも申し合わせを作成し、2023年(令和5年)第4回定例会から議会費で措置され、介護事業所と契約しています。

地方議会でも障がいのある議員に対する介助費用を議会費で措置することは、画期的で例がないと聞いています。議会での合理的配慮を進めて、重度の障がいがあっても、他の議員と同様に議会活動ができることを示していけば、社会全体の合理的配慮や障がい者の社会参加がもっと進むかもしれません。



介助者が高木議員を介助している様子 (12月19日撮影)

原稿は議員が作成しています

委員会の視察先とテーマ

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

1月17日、18日(右写真)

- ▷滋賀県守山市
庁舎の市民利用及びエネルギーマネジメントシステムについて
- ▷岡山県倉敷市
ファシリティマネジメントの取組(実践から取り組むFM〜くらしき流)について



行財政改革推進調査特別委員会

1月17日、18日(下写真)

- ▷和歌山県和歌山市
和歌山市スマートシティ推進プラットフォームについて
ウォークアブルシティの実現に向けた取組について
- ▷大阪府大阪市
大阪市DX戦略「Re-Designおおさか」の取組について



厚生文教委員会

1月23日、24日

- ▷大阪府泉大津市
部活動の地域移行について
- ▷三重県名張市
子どもの権利委員会の活動について

総務企画委員会

1月31日、2月1日

- ▷岐阜県各務原市
おくやみコーナー(死亡に伴う各種手続きのご案内)について
かかみがはら寺子屋事業について
- ▷愛知県豊川市
公契約条例について
町内会電子回覧板「結ネット」導入の実証実験について

※過去の行政視察報告書は、議会図書室(本庁舎4階)または情報公開コーナー(第二庁舎6階)で閲覧できます。また、行政視察報告書を市ホームページで公開しています。

視覚に障がいのある方へ「声の議会だより」をご利用ください

視覚に障がいのある方を対象に、CD及びデジCDに市議会だよりの内容を音声で収録した「声の議会だより」をお届けしています。

ご家族やお知り合いで視覚に障がいのある方がいましたら、ご利用をお勧めください。ご希望の方は、電話で議会事務局へお申し込みください。なお、収録はボランティアグループの「小金井市対面朗読の会」のご協力をいただいています。

【対象】原則として障害者手帳1～6級の視覚障がいのある方(対象者以外でも、図書館本館でご利用いただけます)

【申込】議会事務局(市役所本庁舎4階)
☎042-387-9947

議員研修会を開催しました

～「武蔵野新田開発について」を研修～

令和6年1月16日(火)に議員研修会を市役所本庁舎で開催しました。

令和5年度は、大石学さん(東京学芸大学名誉教授)を講師にお招きしました。当日は市民の方にもご参加いただいたほか、YouTubeで中継を行いました。

なお、当日の資料は市ホームページに掲載し、ご講演の録画はYouTube配信しています。下記の二次元コードからご覧いただけます。



講演の資料



講演の録画

議会報告会を開催しました

小金井市議会は、令和6年1月26日(金)に東小金井駅開設記念会館(マロンホール)、27日(土)に市役所本庁舎で議会報告会を開催しました。

市役所本庁舎での開催については、YouTubeで録画配信しており、右記の二次元コードからご覧いただけます。

詳細は次号に掲載します。



東小金井駅開設記念会館
(マロンホール)



市役所本庁舎

広報協議会を開催しました

【12月19日】

- ▶1 各部会の状況報告について
- ▶2 議会改革の調査事項について

全員協議会を開催しました

【12月19日】

- ▶ 小金井都市計画用途地域の変更
- ▶ 小金井都市計画高度地区の変更
- ▶ 小金井都市計画防火地域及び準防火地域の変更



小金井市はGPN会員として
印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。*ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。
この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。

災害時においても議会機能を止めないために、小金井市議会BCP(業務継続計画)を策定

小金井市議会は、議会改革の一環として、大規模災害等が発生した場合においても、議会の機能維持を図るため、議会・議員等の組織体制及び行動基準等を定めた「小金井市議会BCP(業務継続計画)」を昨年3月に策定しています。

1 目的

2011年3月に発生した東日本大震災は定例会の開催中に発生し、市議会は、「小金井市議会災害時対応マニュアル」に基づき議会活動を継続しました。その後、2020年1月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大・パンデミックにより、国・東京都による緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置等が発令される事態となり、感染防止対策など市議会活動へも大きな影響をもたらしました。

近年、毎年のように各地で大規模災害が発生していることや首都直下型地震が発生する可能性が指摘されていることを踏まえ、小金井市議会として、二代表制の趣旨に則り、議決機関・住民代表機関としての役割を果たし、議会の機能維持を図ることを目的とし、そのために必要な組織体制や行動基準などを定めた「小金井市議会BCP(業務継続計画)」を策定するものであります。

2 災害時の議会及び議員の行動指針

- (1) 議会は議決機関として、予算、決算、条例、重要な契約などの審議において、執行機関の事務執行状況をチェックし、また、市の重要な政策形成過程において住民の代表者として地域性や住民ニーズを反映するなど、極めて重要な役割を担っています。議会は、地域で大規模な災害が発生した非常事態においても、議会活動を機能停止することなく、適正で公正な議会運営により、この議会機能を保持する必要があります。そのためには、様々な事態を想定することにより、議会としての災害対応体制を整えなければなりません。また、災害時の初期対応、復旧・復興時においても、住民の代表機関として大きな責務と役割を担う必要があります。
- (2) 合議体として基本的な機能を維持するために議員は、その構成員としての役割を担うことが基本となります。一方で、議員は災害発生時に

は、地域の一員として被災した市民の救援・救護などの初期対応や被害の復旧・復興のための対応に、非常事態に即応したそれぞれの役割を求められます。議員は、議決機関としての議会機能を維持し根幹的な役割を十分に認識すると同時に、地域でのそれぞれの役割に応じて地域の救援・救助活動・情報収集活動などに努めるものとしします。

3 想定する災害

小金井市地域防災計画に基づく市災害対策本部、小金井市国民保護計画に基づく市国民保護対策本部が設置される災害基準を概ね準用しています。

災害種別	発動基準
地震	市内で震度5弱以上の地震が発生した場合
風水害	1 暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水警報又は特別警報が発表され、あるいは局地的集中豪雨により、内水氾濫等甚大な被害をもたらす災害が発生し、又は発生するおそれがある場合 2 主要河川について、氾濫注意水位を超え、更に上昇のおそれがある場合
感染症	新型インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症の感染拡大が市民生活に多大な影響を与える場合、又はそのおそれがある場合
その他	1 上記自然災害のほか、武力攻撃災害及び大規模テロ等又は、大規模火災や大規模な事故など、大きな被害が発生した場合、又はそのおそれがある場合 2 その他議長が必要と認めた場合

そのなかで、議会の防災訓練について、災害に対する危機意識を高める観点から、議員と事務局職員を対象として毎年度1回は実施することを規定しており、議会運営委員会において協議を重ねた結果、小金井市議会BCP(業務継続計画)策定後初の市議会防災訓練として、本会議場からの避難訓練を実施しました。

小金井市議会BCP(業務継続計画)に基づき、市議会「初」の震災避難訓練を実施

実施日: 令和5年12月1日午前10時より

訓練内容

議場での身の安全確保と議会事務局による避難経路確認の後、全議員は駐車場へ避難

- ①本会議中に震度6弱の地震発生！議長は「会議の中止」を宣言
- ②今回の訓練の特徴1「シェイクアウト訓練」今回は約30秒で設定
大きな揺れを感じたら、その場で「頭を守り身を低くして」(自身の安全確保)揺れの収まりを待ちます。
- ③議会事務局により避難経路の確認ができた後、全議員避難行動へ

議長による総評



④今回の訓練の特徴2「障がいのある人の布担架搬送」

- ※高木章成議員の搬送は男性議員4人が有志隊を結成し、訓練前に小金井消防署より訓練指導を受け、訓練当日には布担架による搬送を実施しました(訓練には高木議員本人も参加し搬送方法を確認)。
- ⑤高木議員を布担架で4階から1階まで搬送し、1階で車椅子へ乗せ換え集合場所へ到着(全議員避難に要した実時間は、6分45秒)。
 - ⑥全議員の避難を確認した後、議長による総評と小金井消防署より講評の後、終了。

搬送状況



搬送を担当した4人の感想

- 一段一段、声を掛け合いながら気をつけて搬送を！
- 訓練を実施してみると様々な課題が明確になり、今後の参考となった。
- 足元が見えず声かけ連携が重要！
- 搬送時はバランスが取りづらく、状況を伝え合うことが大事。4階から1階は遠く感じた。

小金井消防署による講評内容

- 事務局による避難経路確認指示及び確認終了連絡は、どちらもはっきりと声が出て良かった。
- シェイクアウト訓練と避難する際は、頭部と併せて首の後部も守りながら避難した方が良い。
- 有志隊は、「1、2、1、2」と声を掛け合いながら避難搬送行動を行ったことは良かった。
- 概ね「初回の訓練としては良かった。」と評価していただいた。
- 避難経路廊下のロッカーの転倒防止対策や、議場の蛍光灯照明器具や窓ガラスの破損(飛散防止)対策がされていない等、今後の訓練に対する課題の指摘もあった。

小金井消防署による講評



原稿は議員が作成しています

次の定例会は令和6年2月20日(火)開会予定です。